**「下水道の点検調査、毎年10キロ」山中質問に**

**２０２５年３月議会での山中まゆみ市議の質問についてお知らせします。**

埼玉県八潮市での悲惨な下水道事故の状況が伝わってくる中で、つくば市での下水道管点検調査状況について質問。上下水道局から、「点検は腐食リスクの高い箇所を優先的に５年ごとに調査。毎年約１０キロメートルのコンクリート管を調査し、主要マンホール６００カ所を点検している」と答弁。

「古い下水管が敷設されている地域はどこか」との質問すると「整備後４０年経過している管路は約２４０キロメートル、研究学園都市地区が主な地域」と回答。

つくば市管理の管路の最大口径は「１・５メートル、最深１５メートルの位置に埋設」と回答。直近の陥没事故について聞くと「直近7年間の陥没事故は３件発生。

直径１０ｃｍから５０ｃｍの穴が確認されている」とのことでした。

下水道更新時の工法についても質問。「硫化水素濃度を計測し、送風機などで換気したうえで、管内部に樹脂による更生材で被覆する」。

**山中市議**は、「硫化水素がたまる危険な環境の中、特殊な機材や技術をそろえた業者が少ない中、十分な担当職員をそろえ、更新工事を進めていくことは困難であること。管路更新費用が莫大であるため、市民に責任を負わせる独立採算性は成り立たない事は明白である。国の責任も問わなければならない。つくば市では、これまで出してきた一般会計からの下水道会計への繰入金（補助金）を、令和７年度は２億円減らす予算を組んでいるが、安易に減らすべきではない」と主張しました。

　直近3年間で市税2500万円以上を使って市長が海外視察に

山中市議は、直近3年間の市長の海外視察について質問しました。海外視察の中身は以下の通り。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時期 | 行先 | 日数 | 目的 | 随行職員数 | 費用 |
| 令和６年度 | フィンランド周辺国 | ９日間 | スマートシティの取組紹介 | ６名 | 460万円 |
| 令和５年度 | ルクセンブルク、パリ | ９日間 | スタートアップ紹介 | ３名 | 560万円 |
| 令和５年度 | スペイン | 11日間　　　　　 | スーパーシティ紹介姉妹都市交流 | ６名 | 840万円 |
| 令和５年度 | タイ | ３日 | スマートシティ脱炭素地域作り　　　　　　　　　　　　 | ２名 | 25万円 |
| 令和４年度 | フィンランド | 15日間 | スーパーシティ |  | 480万円 |

**山中市議**は市長の海外視察について報告を求めました。以下の通り。

（**事前公表と報告書がない**）

　**山中市議**は、土浦市は視察前に費用・目的地・同行者・旅行行程などを公表しているがつくば市ではどうしているか」と質問。市長公室長は「特に公表していない」と回答。報告書はなく「市公式ブログで公表しているものが正式文書である」と回答しました。

（オンラインでも参加可能、１か月以上の市長不在　許されるのか）

　山中市議は、「通常、他の自治体首長は、頻繁に海外に行きません。年１度行くか行かないかです。スーパーシティなどの取組を紹介するのは、オンラインでも十分可能です。市長が直接行く必要ありま市民の税金です。目的も市民にどう還元されているのかわからない。さらに、令和5年度は実に1カ月近く、つくば市にいないことになります。緊急事態や災害が起きた時のことをどう考えているのか」と指摘しました。

**つくタクの４月からの値上は中止に！**

**タクシーへの直接運賃補助　タクシー助成券の支給要件緩和を要望**

昨年１１月から１２月の１０日間、令和７年４月値上実施を前提に、つくタク運賃値上げのアンケートが行われました。**山中市議は**アンケートの結果を問いました。市当局からは賛成が２１８、反対が３９９であり、４月値上げ実施は行わないとのことでした。

**山中市議は**さらに、高齢者の移動支援が不十分である点を指摘。タクシー助成券は、車を所持していたり、同居家族がいる場合は支給されません。

多くの高齢者が「車を所持していても、運転を控えたい」「同居家族がいても昼間仕事をしているし、わざわざ仕事を休んで送迎してもらうのは申し訳ない」といいます。

車の所持や同居人の有無を支給要件からなくし、支給枚数など調整して、高齢者すべてにタクシー助成券を配布すべきと要望しました。

そのほか、つくタク予約をとらなくても、民間タクシーが利用できるよう、タクシー運賃への直接補助を実施するよう要望しました。　　　　　　　　　　**（文責・筑波おろし）**